




【テーマ】	わたしたちの身の回りの自然(植物・生き物)  <b>小さな粒の違い</b>
【テーマの設定理由】	普段園庭で遊んでいる時に、石を集めて楽しんでいるところから身近な素材を観察してみようとテーマにした。様々な素材をスコープを使って普段見られない視点から観察して比較することで違いに気づく。
【活動スケジュール】	11月中旬(2回に分けて行う)
【準備(道具・素材・環境設定)】	石、砂、土、砂糖、塩、小麦粉、粉チーズ、お茶の葉、米、透明のカップ、画用紙(白、黒)、わくわくスコープ、iPad
【活動内容】	いつも集めているきれいな石を詳しく見てみようとしてスコープで観察。その後、同じ園庭にある砂や土はどのように見えるか、園庭の他に見てみたいものはどのようなものか意見を聞いて、違いを観察した。
【子どもたちの様子】	<p>・拾ってきた石を観察</p>  <p>もようがみえた！ ふつうにみるほうがきれいかも</p> <p>・スコープで土や砂を観察</p> <p>つちは、とげとげしてて、はりねずみみたい。 すなは、いしがいっぱいだけど、えんていのすなは、おおきいね！</p>  <p>・塩や砂糖、小麦粉など他のものを観察</p> <p>しおは、つぶつぶがしかくい</p> 
【気づき・ふりかえり】	小さくていつもは見えないような視点から、身近なものを詳しく見ることで、新しい発見があったり、比較して違いに気づくことができた。普段の生活の中から素材を使ったことで、「次は、こんなものを見てみたい」と子ども達も興味を示し、観察した時も見たこと、感じたことを言葉で表現する力に繋がった。